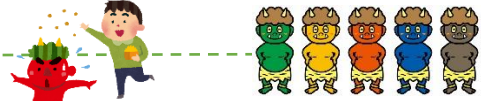




「1月は行く 2月は逃げる 3月は去る」と言われるとおり、あっというまに1月が終わり、2月に入りました。3学期は学習のまとめの時期ですが、足早に過ぎていきそうです。

心の鬼を追い出そう

さて、日本の伝統行事には、昔の人々の様々な知恵が隠されていることが多く、調べている私自身も大変参考になることが多いです。2月3日が節分でしたので、学校朝会で「節分の由来や鬼の種類、心の鬼」について話をしました。紹介します。



みなさん、おはようございます。

2月3日は「節分」でしたが、豆まきはしましたか？ 節分とは「季節を分ける」という意味です。だから、昔は、春・夏・秋・冬の間の季節の変わり目のことをすべて「節分」と呼んでいました。ということは、なんと！ 1年に4回、節分があったということです。

そして、これらの季節の節目には「邪気」といって祟りや呪い、悪い気配が入ってくると信じられていました。豆まきは、それらの見えない悪いものを鬼に見立て、それを追い払うために行われるようになった昔からの風習です。では、ここで問題です。

北海道や東北地方では、節分で大豆の代わりにあるものを投げます。そのあるものとは何でしょう？

- ① 石 ② ジャがいも ③ 落花生(ピーナッツ) ④ 卵

正解は、…③の落花生(ピーナッツ)です。雪の多い地域で使われているのは、雪の中に撒いた豆を拾うのは落花生の方が楽ですし、あとで食べることを考えると殻に入った豆の方が衛生的である等の理由からだそうです。節分で鬼に投げるものも地域によって違うんですね。

続いて第2問。節分の鬼といえば赤鬼のイメージが強いですが…、実は、節分の鬼の色は5色あります。「赤鬼」「青鬼」に「黒鬼」と「黄鬼」…では、後1つは何色の鬼でしょうか？

- ① ピンク鬼 ② 緑鬼 ③ 紫鬼 ④ オレンジ鬼

正解は、②の緑鬼です。昔の人は、人間誰もが持っている悪い気持ちを「5つの鬼」に例えて色分けしました。ダメダメ戦隊鬼レンジャーみたいですね。それぞれの色の鬼は次のような性格だそうです。

赤鬼は、欲深く何でも欲しがらる……「**欲しがり鬼**」です。人間のすべての悪い心を表していると言われているので、赤鬼が一番有名な鬼になっています。

青鬼は、悪口や嫌なことばかり言ういつも怒っている……「**怒りんぼ鬼**」です。

黄鬼は、自己中心的で自分勝手にわがままな……「**わがまま鬼**」です。

黒鬼は、人を疑ったり、愚痴をこぼしたりする……「**人のせい鬼**」です。

緑鬼は、やるきが出ない、だらだらするという怠け者の……「**なまけ鬼**」です。



お正月や3学期の始業式に、「今年は、〇〇をしよう！」と目標を立て、やる気を新たにした人も多いと思います。しかし、1か月が過ぎ、その心が少し弱くなっている人は、緑の「なまけ鬼」が心の中に入ってきたのかもしれない。

ただ、この「**心の中まで入ってきた鬼**」は、豆だけでは外に追い払うことはできません。外から来る鬼よりも、「心の鬼」の鬼退治の方が大変なのです。しかも、この5つの色分けされた鬼は、誰の心にも入ってくるらしいのです。自分には「心の鬼」はいないよと言う人も、もしかしたら、何かのきっかけで「心の鬼」が入ってくるのかもしれない。そんなときは、「心の鬼」を追い出そうという強い気持ちで鬼退治をしてください。

自分の「心の鬼」を退治し、残り2か月も心をすっきりとさせて、1年間のまとめをおこない、進学・進級に向けてがんばっていきましょう！

これで校長先生の話が終わります。

2月は、怪我や病気が多い月です。自分の生活習慣を振り返り、健康面に気をつけて残りの2か月間を過ごしてほしいと思います。